

In vivo CAR-T療法を実現する、統合型 mRNA・circRNA-tLNP プラットフォーム

Apr 16, 2026 | 15:00-16:30 (GMT+9)

今すぐ登録

RNA創薬および標的型脂質ナノ粒子（tLNP）は、体内で直接CAR-T細胞をエンジニアリングする新たな可能性を切り拓いています。

統合型プラットフォームは、このイノベーションをどのように加速できるのでしょうか。

本ウェビナーでは、プラスミド開発、RNA製造、標的型LNPデリバリーを統合することで、創薬コンセプトから治療応用までのプロセスをいかに簡素化・迅速化できるかをご紹介します。

mRNAテンプレートプラスミドの開発・製造戦略

14:00-14:40

- mRNAテンプレートプラスミド製造における課題を理解する
- 独自の菌株、バックボーン、および堅牢な製造プロセスを開発する
- 業界動向、課題および機会に関する洞察を得る



Dr. Lauren Lu

プラスミド事業部
シニアディレクター

In vivo CAR-T療法を支える統合型 xRNA-tLNP プラットフォーム

14:40-15:20

- CAR-T療法におけるxRNA-LNP技術の重要な検討事項
- xRNA-tLNP製造における技術的課題とその解決策
- in vivo CAR-Tのケーススタディ



Dr. Wei Guo

mRNAプロセス開発部
シニアマネージャー